

【著書】

伊原奈帆、橋口さおり.

オピオイド使用患者の根治術—ナルサス、ナルラピドの周術期調整を中心に—.

LiSA 27: 1284-1288, 2020.

山田圭輔, 橋口さおり.

公開講座：緩和ケア医が「生と死」を考える.

ペインクリニック 41 (10) 1379-81, 2020

橋口さおり.

緩和ケアチームにおける麻酔科医の役割. 特集 医療チームにおける麻酔科医の役割.

麻酔 69 248-255, 2020

橋口さおり.

オピオイド鎮痛薬による呼吸抑制. 特集 痛み治療で用いる薬物の副作用とその対策・薬物療法の反省点.

ペインクリニック 41 (11) 1425-1429, 2020

橋口さおり.

学術集会のすすめ. 巻頭言.

ペインクリニック 41 (7) 843-4 2020

橋口さおり.

死とは何か—さて死んだのは誰なのか—. 麻酔科医に勧めたい本.

A net 24 (3) 25 2020

橋口さおり.

看取りの現場から. 花に逢う.

宝生 第67号 8-10, 2020

藤澤大介.

慢性痛に対するマインドフルネス療法：概略とミニ演習.

「麻酔」第69巻増刊号 S185-190, 2020

藤澤大介、阿部晃子.

気持ちのつらさ（不安・抑うつ）（特集：がん診療～明日から活かせる考え方・動き方）.

レジデントノート増刊 22(11), 172-179, 2020

藤澤大介.

身体疾患の患者さんとどう語るか? がん患者さんを例に.

臨床心理学 20(4), 439-444, 2020

藤澤大介、山本玲美子、田村法子 (分担執筆)

Ⅱ 精神症状の評価とツール 「1 気持ちのつらさ」.

緩和ケア・がん看護 臨床評価ツール大全 p113-125, 2020 青海社

藤澤大介.

がん患者の精神医学的問題.

今日の治療指針. 医学書院. 東京. 2020

金子健. (分担執筆)

緩和ケアと QOL—リハビリテーション医療現場でどうアプローチするか—

知っておきたい: がん性疼痛のアセスメントと薬物療法の基本

Monthly Book Medical Rehabilitation 247 全日本病院出版会, 2020

金子健.

高齢多死社会に向けて知っておきたい 人生の最終段階における薬の使い方&緩和ケア

第3章 症状緩和の薬はこう使う 5. せん妄

月刊薬事 2020年10月臨時増刊号 (Vol. 62 No. 14), じほう, P174-182, 2020.

金子健.

長期処方時代の薬物療法を支える薬剤師になるための慢性疾患治療薬の使い分けと患者モニタリング 「慢性疼痛 Pharmacist's Eye」

調剤と情報 2020年11月臨時増刊号 (Vol. 26 No. 15), じほう, P294-304, 2020.